

ふれあいネットワーク

三種町社協だより

きずな

令和2年

9月

第57号

三種町社会福祉協議会
秋田県山本郡三種町森岳字上台93-5
TEL (0185) 72-4400
FAX (0185) 83-3200

ホームページでもご覧になれます ▶▶▶

三種町社協

検索



7月7日 金岡小学校「ふるさと元気プロジェクト」地域交流会
(関連記事は6ページ)



— 題 字 — 渡部 貴子さん (八郎潟町)

三種町社会福祉協議会が実施している、中高生向けの学習支援事業の学習支援専門員をしています。

子どもたちと一緒に過ごす時間は楽しいです。

子どもたちに教えているようで、毎回自分の方が勉強になっています。

令和元年度は『第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画』の最終年度であり、つづく『第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画』の策定年度でもありました。計画の評価および策定の過程を通じ、地域の様々な立場の方や関係機関・団体の方々と地域福祉に関する情報や課題を共有することができました。

近年、身寄りのない人、あるいは家族・親族がいても支援を受けることが難しい人の問題が顕在化しています。本会は、このような問題を限られた特定個人の問題と限定的に捉えるのではなく、現代社会に特徴的な地域

福祉の課題として捉え、権利擁護センターの設置や市民後見人の養成等の先駆的な実践に積極的に取り組んできました。

また、恒常的な人材不足、特に介護サービス事業所の人材不足および介護報酬改定の影響により、在宅介護をとりまく経営環境は年々厳しくなっています。これまで事業運営上の工夫や人員配置の見直しで対応してきましたが、将来に向けた安定的な介護サービス提供のために計画的な人材確保および人材養成が課題としてあげられます。

1 ソーシャルワークの展開

(1) 地域における総合的な相談支援活動

地域自立生活上の課題に広く対応する「ふれあいあんしんセンター」と一般高齢者から要介護高齢者の保健・福祉・介護等の課題に対応する「相談支援センター」の緊密な連携のもと、地域における総合的な相談支援活動（コミュニティソーシャルワーク）に取り組みました。

(2) 権利擁護センター（法人後見等を含む）

地域における総合的な相談支援活動から権利擁護を必要とする事案の存在が明らかとなり、平成28年10月から相談および申立支援、法人後見受任体制などを整備してきました。センター開設から令和元年度末までに受任した後見事件は累計8件。被後見人の死亡により終了した事件が1件あり、令和元年度末時点で受任している事件は7件となっています。

相談件数は対前年度比で24件減少していますが、次に掲げる日常生活自立支援事業の相談件数がかなり伸びており、判断能力が保たれている早い段階で相談に結びついているものと考えられます。

(3) 日常生活自立支援事業（第2種社会福祉事業）

令和元年度の相談件数合計は256件。対前年度比では75件の増となっています。新規契約に至った件数は13件、契約終了件数は5件となっています。令和元年度末時点での契約件数の合計は31件。専門員（本事業の主担当）の延べ支援実施回数は21回（うち生活保護受給者は7回）。生活支援員（日常の実務担当）の延べ支援実施回数は329回（うち生活保護受給者は217回）となっています。

(4) 福祉教育の推進

学齢期から一人ひとりの人間を大切に思う心をはぐくみ、共に生きる地域社会のあり方への理解を深めるため、小中学校と協働で福祉教育に取り組みました。令和元年度は小学校5校、中学校2校で実施。参加延べ人数は282人でした。体験型のプログラムはわかりやすい反面、障がい者を一方的な支援の受け手と捉えてしまうなど偏った見方を強化する危険があります。それを防ぐために実際の障がい者の考えや生活に触れる機会を持つことが重要と考え、障がい当事者の方（2人）にゲスト講師をお願いし、延べ6回にわたって参加していただきました。

(5) 夏休みジュニア・ボランティア講座

小学生（4～6年生）27人を対象に、夏休み期間中のボランティア講座を実施しました。子どものキャリア教育のコンセプトのもと、仮想の町をつくり、仮想の通貨を用いて様々な職業体験、納税体験、寄附体験ができるプログラムとしました。秋田看護福祉大学の学生5人と地域のボランティア7

人の協力を得て実施しました。

(6) 市民後見推進事業

平成30年度に実施した市民後見人養成講座修了者のうち4人を法人後見履行補助者に任用し、法人後見履行補助業務を通じて市民後見人としての経験を積んでいただきました。延べ支援回数は29回となっています。相互の経験を分かち合うために研修会を2回開催しました。

(7) 子どもの学習・生活支援事業

子どもの学習・生活支援事業を実施しました。利用登録数は6人（中学2年生2人、中学3年生3人、高校2年生1人）。開催日は土曜午後の2時間で年間48回実施しました。利用した中学3年生の3人は全員志望校に合格しました。

(8) リユース（学習用具等再活用）事業

18人の方から86点の品物（制服、体育着、柔道衣、スポーツ用品、文房具など）を協力していただきました。また、7人の方に8点の品物（制服、柔道衣、彫刻刀など）を再活用していただきました。

(9) 家族介護者交流事業（スマイルの会）

通算5回開催しました。延べ参加人数は45人と前年度に比べて5人の減。参加者の募集方法や新規参加者の開拓など、今後も継続して取り組む必要があります。事業内容としては身体を動かすアクティビティ・プログラム、調理実習等の体験型プログラム、フラワーアレンジメント等の創作プログラムなど、多様なプログラムを実施しました。

(10) 救急医療情報キット配布事業

一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を中心に530世帯、569人に救急医療情報キットを配布しています。令和元年度の新規配布は13件でした。

(11) その他の地域支援活動等

民生児童委員協議会との連携・協働のもとで小地域ネットワーク活動を推進しました。また、傾聴ボランティアや地域のサロン活動への協力（定例会出席、チラシ作成、研修講師の連絡調整等）を行いました。ほかに、県主催の能代・山本地域成年後見制度利用促進連携ネットワーク会議への職員派遣、県社協主催の成年後見制度利用促進実務研修会での実践報告および秋田県権利擁護センター設置検討委員会への職員派遣等を行いました。

(12) 無料法律相談

年間6回、偶数月の第3木曜日に実施しました。能代市の弁護士2人に相談員を委嘱し、輪番で対応していただきました。相談者は延べ20人。相続、債務整理、離婚問題、近隣トラブルなど、多岐にわたる相談内容に対応していただきました。

2 在宅福祉サービス事業

(1) 活動について

福祉サービス課の介護保険事業は、すべて障害福祉サービスにも対応しております。支援を必要とする方が住み慣れた地域の一員として、安心して暮らし続けられるように、本人の力を活かすことを念頭に置いたサービス提供に努めました。利用者の生活課題の早期発見とその改善に働きかけ、関連するサービスや諸機関と連携を図りました。また、職員においても、資格取得や研修など自己研鑽に努めました。

(2) 事業について

①介護保険事業

- ・相談支援センター
- ・ホームヘルプサービス
- ・デイサービスセンター
- ・訪問入浴サービス

②介護予防・日常生活支援総合事業

- ・ホームヘルプサービス
- ・デイサービスセンター

③障害福祉サービス事業

- ・ホームヘルプサービス
- ・山本デイサービスセンター

④受託事業

町からの委託を受け次の事業を実施しました。

- ・移動支援ホームヘルプサービス
- ・生きがい活動支援通所
- ・身体障害者訪問入浴サービス
- ・配食サービス
- ・生活支援ハウス
- ・外出支援サービス

3 内部研修

令和元年は、消防署の指導により救急救命講習を受けました。

4 実習生の受け入れ

○社会福祉士実習生……4人

- ・東北福祉大学（2人）
- ・秋田看護福祉大学（1人）
- ・盛岡医療福祉専門学校（1人）

○介護支援専門員実務研修生……1人

5 地域福祉センターの管理経営

三種町地域福祉センターを地域福祉の活動拠点として捉え、地域住民の福祉ニーズに応じた諸活動、各種サービスを実施するとともに、事業計画に沿った効率的な管理経営に努めました。

6 共同募金助成金事業

広報誌発行事業、ボランティア育成事業、無料法律相談などに共同募金助成金を活用し事業展開しました。令和元年度の本会への助成額は合計912,563円(前年度比127,029円減)でした。

7 その他の事業

(1) たすけあい資金貸付事業

令和元年度のたすけあい資金貸付件数は、継続件数が32件、新規貸付は12件でした。

(2) 生活福祉資金貸付事務

令和元年度の貸付事務件数は、継続件数が30件、新規貸付はありませんでした。

(3) 苦情の解決

令和元年度の苦情の件数は、ホームヘルプサービス3件、デイサービスセンター1件でした。受理した苦情はすべて解決しました。

令和元年度 一般会計資金収支決算報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

(単位：円)

	収入の部		支出の部	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動による収支	会費収入	3,205,080	人件費支出	202,295,311
	寄附金収入	2,598,370	事業費支出	28,978,482
	補助金・負担金収入	63,216,787	事務費支出	41,274,761
	共同募金配分金収入	912,563	貸付事業支出	490,000
	受託金収入	60,420,448	助成金支出	864,000
	貸付事業収入	554,000		
	事業収入	1,906,049		
	介護保険事業収入	136,603,740		
	障害福祉サービス等事業収入	8,103,070		
	雑収入	8,433,815		
	事業活動収入計(1)	285,953,922	事業活動支出計(2)	273,902,554
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)			12,051,368	
施設整備等による収支	施設整備等寄附金収入	0	ファイナンス・リース債務の返済支出	608,900
	施設整備等収入計(4)	0	施設整備等支出計(5)	608,900
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)			△608,900
その他の活動による収支	たすけあい貸付基金積立資産収入	490,000	たすけあい貸付基金積立資産支出	554,072
	サービス区分間繰入金収入	17,957,294	サービス区分間繰入金支出	17,957,294
	その他の活動による収入(退職手当積立基金預け金返還金収入等)	9,624,212	その他の活動による支出(退職手当積立基金預け金支出等)	9,374,952
	その他の活動収入計(7)	28,071,506	その他の活動支出計(8)	27,886,318
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)			185,188
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)				11,627,656
前期末支払資金残高(11)				40,236,595
当期末支払資金残高(10) + (11)				51,864,251



赤い羽根 小さな協力 大きな力 「赤い羽根」共同募金

共同募金は、地域の様々な課題を共に考え、解決に向け取り組む活動や地域の福祉向上を推進する活動を支えます。

皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

- ◆10月1日から12月31日まで実施しております。
- ◆各地区を担当されている方が訪問いたします。

戸別募金 **600円以上** (各世帯をお願いいたします。)

大口募金 **1,000円以上** (各法人・商店等をお願いいたします。)

※皆様からお寄せいただきました募金は、下記団体と県内で福祉活動をする団体等（共同募金だより記載）の事業に対し、来年度に助成されます。

令和2年度 共同募金による助成予定団体

※表記は◎団体名…事業名となっております。

- ◎琴丘小学校……………ふくしん坊スクール
- ◎下岩川小学校……………児童地域福祉交流事業
- ◎森岳小学校……………福祉教育推進事業
- ◎金岡小学校……………金小思いやりプロジェクト
- ◎湖北小学校……………ふれあい体験活動
- ◎浜口小学校……………浜口小学校福祉教育推進事業
- ◎琴丘中学校……………福祉施設訪問体験および社会貢献活動
- ◎八竜中学校……………八竜ふるさとキャリア教育
- ◎三種町母子寡婦福祉会(八竜・山本・琴丘)……………ひとり親家庭のふれあい交流会
- ◎三種町手をつなぐ育成会……………三種町手をつなぐ育成会と地域活動支援センターみたねとの交流会
- ◎三種町民生児童委員協議会……………三種町ひとり暮らし情報交換会
- ◎声のサークル「かくれんぼ」……………「広報みたね」の音訊・朗読会・研修会
- ◎三種町社会福祉協議会……………広報誌発行事業、地域福祉活動推進員育成事業、無料法律相談事業



令和2年10月1日 三種町共同募金委員会 会長 佐々木洋一

◆お問い合わせ 三種町共同募金委員会 ☎72-4400

家族介護者交流会

自宅で家族を介護している
方々の交流の場です。
介護疲れのリフレッシュや
情報交換を目的に
開催しています。

7月3日に能代の「大倉ヨーガスタジオ」より大倉優子氏を講師としてお招きし、ヨガ体験を行いました。参加者の方々は、ゆっくり優しい動きで、心身のリフレッシュをはかりました。



次回

交流会のお知らせ

- 対象** 在宅で介護をされているご家族(先着20名ほど)
- 日時** 9月17日(木) 午前10時～午後2時ころ
- 集合場所** 三種町社会福祉協議会 会議室に午前10時まで
- 内容** 『旬を味わおう! くだもの狩り!』
行き先 加賀谷果樹園(潟上市)

持ち物 参加費500円(昼食代)をお持ちください。

申し込み 9月7日(月)まで
三種町社会福祉協議会
地域福祉課 (TEL 83-4861)



湖北小学校・浜口小学校福祉教育

7月1日に湖北小学校の4年生25人を対象に、車いす体験とアイマスク体験を行いました。また7月2日には浜口小学校の4年生11人を対象に、車いす体験を行いました。車いす体験では、3人1組で車いすを使い体育館や水飲み場など校舎内を実際に動き回りました。アイマスク体験では、アイマスクを着用し点字ブロックの上を歩いたり、点字絵本等に触れたりしていました。子どもたちは体験を通して、困っている人がいたら自分に何ができるのかを考え、思いやりの心を学びました。



湖北小学校



浜口小学校

金岡小学校

「ふるさと元気プロジェクト」地域交流会



金陵の館



新田サロン



中嶋ふれあいセンター

金岡小学校『ふるさと元気プロジェクト』の一環として、金岡小学校の子どもたちが企画した地域交流会が、7月7日に開催されました。

金岡小学校3～6年生15人と地域サロンの方々、三種町社会福祉協議会などが参加しました。

新型コロナウイルス感染症予防のためマスクをつけた小学生たちは、金光寺地区・新田地区・中嶋地区の3カ所に分かれて訪問しました。交流会の参加者の方々は、はじめにかんたんな自己紹介をした後、七夕の短冊の飾りつけをしたり、昔遊び・かるたといったゲームで交流を深めました。

交流会にご参加くださった皆さま、ご協力くださいました

団体・サロン・施設の皆さま、ありがとうございました！

町内のサロン・元気塾に参加しています！

住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、健康に過ごしていくためにさまざまな活動をされています。

介護予防サロン（富岡）



講話：お口の健康について

いきいき元気塾（大曲）



運動で転倒予防

こらさの会（小新沢）



みんなでお食事♪

みなさんの地区にサロンやお茶飲み会などの通いの場がありましたら、ぜひ教えてください。

お伺いさせていただいて、いろいろなお話を聞かせていただきたいです。



三種町社会福祉協議会

生活支援コーディネーター

はたけやま

さき

畠山

咲

TEL 83-3900 FAX 83-3200

認知症、知的障がい、精神障がい等の理由で判断能力が十分でない人の権利や財産を守り、安心して暮らせる地域づくりの活動しております。

新しく **成年後見支援センター** が設置されました！

成年後見支援センターは、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として、開設準備期間を経て令和2年7月1日から、三種町社会福祉協議会（三種町地域福祉センター内）に設置されました。

具体的な内容

- 成年後見制度に関する相談および利用支援
- 成年後見制度の広報および啓発
- 市民後見人の養成および活動支援
- 市民後見人候補者の登録、受任調整
および家庭裁判所への推薦
- 成年後見制度に係る関係機関との連携および調整
- その他センターの運営に関し必要な事業



成年後見支援センター（三種町社会福祉協議会） TEL 88-8004
Mail center@mitane-kouken.or.jp

新規事業

フードドライブを始めます！

～「もったいない」を「ありがとう」へ 食を通じた分かち合い～

食品受付期間 **9月1日(火)～9月10日(木)**

フードドライブとは、ご家庭に眠っている食品をご提供いただき、地域の福祉団体や必要とされる方々に届ける活動です。食を通じた分かち合いをすすめ、食品ロスの削減にもつながります。

受付場所：三種町役場・琴丘総合支所・山本総合支所・地域福祉センター

※各受付場所に設置の回収ボックスにお届けください。



ご寄付いただきたい食品

- ・未開封のもの（外装が破損していないもの） ・常温で保存できるもの
- ・賞味期限が2か月以上残っているもの

(例) お米、乾麺、インスタント食品、レトルト食品、缶詰、調味料（味噌、醤油、食用油など）、飲料（※アルコールを除く お茶、ジュース、インスタントコーヒー、ココアなど）



回収できない食品

- ・生鮮食品 ・冷凍食品 ・冷蔵食品 ・アルコール類 ・賞味期限の記載がないもの
- ・賞味期限が2か月未満のもの ・開封しているもの（外装が破れているもの）

お問い合わせ先 社会福祉法人 三種町社会福祉協議会 地域福祉課 小松 TEL 83-4861



善意 ありがとうございます

(敬称は略させていただきます)

香典返し (8/25までの届出)

- ・伊藤 成彦 (鹿 中)
- ・田村 チオコ (新屋敷南)
- ・牧野 光 (秋 田 市)
- ・齊藤 克己 (鹿 北 二)
- ・田中 隼人 (内 鯉 川)
- ・柴田 誠二 (鹿 南 二)
- ・田中 義洋 (浜 田)
- ・児玉 實 (久 米 岡)
- ・新堀 等 (豊 岡)
- ・三浦 鏡美 (金 光 寺)
- ・三浦 ヒサ (林 崎)
- ・田村 隆 (豊 岡)

- ・日 諸 悦 美 (萱 刈 沢)
- ・珍 田 優 (大 町)
- ・牧 野 和 人 (浜 村)
- ・田 中 正 徳 (安 戸 六)
- ・児 玉 志 保子 (大 曲)
- ・床 田 昭 人 (鹿 南 二)
- ・信 太 温 之 (秋 田 市)
- ・田 中 正 男 (小 谷 沢)
- ・大 山 久 典 (鯉 川 北)

一般寄付

- ・渡 邊 義 文

寄贈

- ・三種町老人クラブ連合会
山本支部 会長 高橋善之助
タオル多数



職 員 募 集

三種町社会福祉協議会では
次のとおり職員を募集します。

1 令和3年度 (令和3年4月1日) 採用予定者

種別	職 種	採用人数	応募資格
正職員	ソーシャル ワーカー	若干名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月卒業で社会福祉士資格取得見込の方 ・社会福祉士資格または精神保健福祉士資格のある方

2 応募要領

次の期日までに次の必要書類を4点提出してください。

- ・必要書類 ①履歴書 ②資格証明書の写し(卒業見込証明書) ③健康診断書 ④レポート
※レポートの課題については、事前にご連絡または当会ホームページをご覧ください。

- ・提出期限 令和2年9月25日 (金)



3 選考方法

- ・第1次選考 書類選考 ・第2次選考 面接試験

4 勤務条件等

当会の就業規則及び給与規程による。

お申し込み・お問い合わせ先
三種町社会福祉協議会
TEL 72-4400 FAX 83-3200

令和2年7月豪雨 災害義援金の募集について

中央共同募金会にて、令和2年7月豪雨災害義援金の受付が開始されましたので、お知らせいたします。

【受付期間】

令和2年7月13日(月)~12月28日(月)

金融機関	支店名・口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行	00140-4-325150	中央共同募金会 令和2年7月豪雨 災害義援金
三井住友銀行	東京公務部 (普通) 0148483	(福)中央共同募金会
りそな銀行	東京公務部 (普通) 0126807	

※上記銀行の各本店支店における窓口およびATMでの振込手数料は無料です。ご利用の金融機関・入金方法によっては、振込手数料が別途かかる場合があります。

●問い合わせ先●

秋田県共同募金会 TEL 018-864-2821



- ・本誌「三種町社協だより」は皆様からの共同募金の配分金の一部を活用し発行しています。